

減税ありき、政権幹部から圧力も 自民党税調の衰え顕著

伊藤舞虹、豊岡亮、今野忍 2018年12月15日05時25分

シェア 0 ツイート list ブックマーク 0 スクラップ メール 印刷



2019年度与党税制改正大綱が決まり、記者会見する自民党の宮沢洋一（右）、公明の西田実仁両税制調査会長＝2018年12月14日午後、東京・永田町、岩下毅撮影



自動車や住宅の減税を柱とした来年度の与党 税制改正大綱 が14日決まったが、来年10月の消費増税 対策を優先し、減税ありきの議論に終始した。負担増の議論は避けられ、格差問題など、税制が抱える課題を解決するための抜本改正は軒並み先送りされた。

「今回一番大事なことは、消費増税と軽減税率の導入を着実にやっていくこと。何とか所期の目的に沿う形でまとめられた」

大綱決定直後に会見した自民党の宮沢洋一 税制調査会長は、こう強調した。大綱には、増税で消費への影響が懸念される住宅や自動車の減税策が並んだ。

だが、税調での議論は、減税の細かい財源探しにばかり費やされた。

増税負担の軽減を求める自動車業界の意向を受け、経済産業省は恒久減税を主張したが、総務省や財務省は当初、「財源

がない」と反発していた。

安倍晋三首相は党税調の議論が始まる前の10月、自動車の減税を検討する方針を表明。首相に近い政権幹部から「これができなければ、消費税は二度と上げられない」との圧力がかかると、恒久減税を容認する流れになった。

結局、エコカー減税の縮小などを組み合わせて財源は確保したものの、減税効果も中途半端なうえ、複雑で分かりにくい税制ができあがった。電気自動車や「カーシェア」の普及など、自動車をめぐる環境変化に対応した税制の抜本改革は、将来の検討課題にされただけだった。

婚姻歴のないひとり親への支援策も、税調が決まきれず、最後まで調整が難航した。もともと婚姻歴の有無で、ひとり親の税負担に格差が生じるという「寡婦（寡夫）控除」の問題が発端だったが、控除の改正は見送り。来年度は予算面での支援で乗り切り、引き続き議論するという玉虫色の結論となった。

大綱の決定日、延期繰り返す

税制に精通した専門家が取り仕切る自民党 税調はかつて、ときの首相の意向とも一線を画し、税制改正の議論を主導する「聖域」と呼ばれた。だが、安倍政権下では、税調よりも首相官邸の意向が色濃く反映されることが常態化している。

その一番の転換点となったのが、2015年末に決めた軽減税率の導入だ。導入を強く求める公明党と導入反対の自民税調が対立。最後は、翌年に参院選を控え、公明の意向を重視した官邸が当時の野田毅 税調会長を更迭し、導入を決定づけた。以来、一昨年の「配偶者控除」の見直しや昨年の会社員らの「給与所得控除」の縮小など、公明党や官邸の意向で、改正内容が変わることが相次ぐ。

そして伝説が始まった

ラグビー日本選手権はきょう決勝。神戸製鋼V7、その陰の物語



紙面にプラス

デジタル限定

PR 注目情報



海外勤務特集掲載中！
年収800万円以上の海外求人多数
海外でキャリアを活かしませんか？



築24年の家が4380万
消費税8%のうちに賢く売ろう。
97%が満足した売却術とは？



アンケートご協力お願い
魚不足に関するアンケートご回答で
サントリー商品が！抽選で1万名様

手のひらや足の裏の水ぶくれやひび割れ
その悩み「掌蹠膿疱症」かもしれません

将来の選択にまつわるエピソードが満載
世界的なトップシェア企業をご紹介します

安藤和津インタビュー「家族に注ぐ愛は
プラチナがくれるパワーのよう」

気になる冷えは手足だけではありません
内臓の冷えに お腹を温めるセルフケア

朝日新聞 金融取材チーム Twitter

かつての強い自民税調は、その一方で、多くの政治家が嫌がる負担増の決断もしていた。だが、税調の調整力が衰えるにつれ、増税を伴う見直しに踏み切れることは少なくなった。

消費増税に加え、統一地方選や参院選を来年に控える今回も、負担増の議論は封印された。その典型が、株取引などの利益にかかる金融所得課税の強化だ。格差是正に必要な改革だが、株価を重視する首相官邸は首をたてには振らない。財務省は「今年は絶対無理」（幹部）と、早々に撤退。税調ではほとんど議論されなかった。

働き方が多様化するなか、労働形態によって税優遇に大きな格差が生じる問題や、老後の資金をめぐる税制を高齢化時代にあわせて見直す問題など、待ったなしの課題は積み上がる一方だ。何より、先進国で最悪の借金頼みの財政状況をどう改善するかという難題が横たわる。

14日の会見で、10%超の消費増税について問われた宮沢氏は「社会保障の大きな方向性が今後議論されていく。それがある程度進んだとき、消費税も含めた財源も議論されるのだろう」と述べただけだった。（伊藤舞 虹、豊岡亮、今野忍）

森信茂樹・東京財団政策研究所研究主幹の話

消費増税 対策に追われ、本格的な税制の議論には手を付けていない印象だ。株式の売買益や配当にかけられる金融所得課税という所得の再分配に必要な税制は、議論だけでもしてほしかった。消費増税 対策で複数の税率ができ、税制が複雑になりすぎてしまった。自動車税も消費者にはわかりにくく、消費税を納税する事業者も対応が大変だと思う。

「シェアリングエコノミー」の仲介事業者に国税当局が利用者情報を照会できるようにしたことは評価できる。本来なら 源泉徴収 と 年末調整 で終わる人も今後、確定申告が必要になる例が増える。申告漏れや悪質な課税逃れを防ぐためにも、将来につながる改革だ。

斎藤太郎・ニッセイ基礎研究所経済調査室長の話

消費増税 の影響緩和にかなり力点が置かれ、それぞれは小粒だが、減税になるものが多く、景気への影響はプラスだろう。一方で、増税の影響をおそれて手を広げ過ぎてもいる。複雑な改正を細かく、コストをかけてやるという非常に効率の悪いやり方に見える。

減税には時限措置が多く、それが切れた後の景気への影響も心配だ。特に、消費増税から1年以内に東京五輪が終わり、それだけでも需要がある程度なくなることが予想される。東京五輪直後に今回の措置が終われば、需要の落ち込みが増幅されるリスクがある。仮に、そこでまた対策をすれば、何のために増税したのかわからなくなる。

ベンチャー企業への税優遇措置はいいが、中小企業の支援策にはやや疑問が残る。生産性や収益力の低い企業を存続させ、経済全体の力をそぐことにつながりかねない。

関連ニュース

「買取後、ほったらかし」ライザップ赤字転落の舞台裏 時給1050円、それでも学生続々 特異なモデルの塾 退職迫られ「男の目を引くうちが花」私は良い子をやめた 自動車や住宅など1670億円減税へ 与党税制大綱

こんな特集も

- 人気料理家が教える、冬にぴったりの絶品料理 (PR)
- 働く男が選ぶべきコートと装いのルールとは (PR)
- 風邪知らずの冬に！まずは"内臓の冷え"を防ぎましょう！ (PR)
- ミリタリージャケットをあえて知的に着こなす方法。(アエラストイルマガジン)
- 異色のファンドマネージャーが直伝！まずは気持ちが大事 (PR)

PR情報

一人でも多くの子どもたちを守る。1日50円からできる支援とは。 知っている人は知っていた！家を買った時より480万円も高く売る方法とは？

@asahi_kinyuさんのツイート

朝日新聞 金融取材チーム @asahi_kinyu LINEペイも20%還元 「ペイペイとは関係ない」：朝日新聞デジタル asahi.com/articles/ASLDG...

LINEペイも20%還元 「ペイペイ... LINEの決済サービス「LINEペ... asahi.com

6時間

朝日新聞 金融取材チーム @asahi_kinyu 三井住友フィナンシャルグループは、太田純副社長が国部毅社長の後任に昇格する人事を正式発表しました。このあと17時より、2人が記者会見します

埋め込む

Twitterで表示

※Twitterのサービスが混み合っている時など、ツイートが表示されない場合もあります。

アクセスランキング

もっと見る

読まれています

昨日のトップ5

- ふたご座流星群、見えた！今夜がピーク
- 闘病中もおしゃれだった妻、最後の夜に「もういいよね」
- 裁判員葛藤「法律、融通きかないのか」あおり運転判決
- 木星にイルカ見えた？NASA探査機の画像公開
- 中国に大国の自信、日本好き初の4割超 「巧虎」大人気

ソーシャルランキング

もっと見る

フェイスブック

はてなブックマーク

- 1 東京の右翼、沖縄で反対活動 3524
- 2 韓国議長、首相に謝罪要求 1826
- 3 100億円還元ペイペイ終了 1521

Facebook

Twitter

記者ページ

注目コンテンツ

ご案内

【&BAZAAR】磨き残しをアプリで可視化する スマホ運動型スマート歯ブラシ



【&TRAVEL】刺し身用アジを絶品フライに アジフライの聖地・松浦を歩く



【&M】銭湯絵師が描いた富士山 カメラマン富田正和の一眼気分

